

経済学部経済学科

学位（教育）プログラム名：経済学（経済学科）

経済学（経済学科）の学位（教育）プログラムでは、ディプロマ・ポリシー（DP:学位授与方針）に示した資質・能力を総合的に身につけている学生を育成するために、以下のようにカリキュラムを編成します。

【教育内容】

経済学科で学ぶのに必要な基礎知識と学習方法を身につけるため、少人数クラスによる導入教育を初年次に行います。また、専門教育のための基礎として、経済学の初等理論に関する教育を早い段階で行います。

これらの基礎教育を土台として、2年次以降、学生の関心と希望する進路に応じて選択できる3つのコースを設けています。

実践経済分析コースは、経済学における様々な理論・分析手法を学ぶことを通じ、現実経済の動向について一般的な理解を深め、その将来の姿を展望できる能力を身につけることを目標としています。このため、マクロ・ミクロ経済理論や統計分析などに関する科目を配置しています。

応用経済学コースは、財政・金融などに関する具体的な経済問題について、その原因を探り、問題解決に向けた対応策を立案・提示できる能力を身につけることを目標としています。このため、財政、金融、国際経済、経済政策などに関する科目を配置しています。

社会経済学コースは、国内外の経済情勢とその歴史に関する知識、実用的な語学力、社会思想に裏付けられた論理的思考力の修得を通じ、広い視野で現実社会を理解できる能力を身につけることを目標としています。このため、社会思想やアジア・ヨーロッパの経済史などに関する科目を配置しています。

意欲をもった学生がグローバル化に対応できる能力を身につけるため、専門教育科目として海外研究者などによる講義・演習も配置します。

【教育方法】

順次性を重視した演習科目を2年次から4年次にわたって配置し、少人数教育を実施します。担当教員、学生相互で協力しながら、自らが選択した課題に対し分析・考察を行い、論文などを執筆することで、課題探究・解決能力を身につけさせます。

講義科目では、チュードレント・アシスタントを配置し、経済学の理論分野の学習支援体制を整え、学生の自主学習をサポートします。

専門教育科目の中に、実社会での経験豊富な社会人による講義科目などを組み込み、社会において自己が果たすべき役割を担い、市民として責任ある行動をとる姿勢を身につけさせます。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。